



国立高等専門学校機構

『赤血球からの光散乱情報に基づく血流動態の検出』

発表概要

日本人の死因順位1位から3位は悪性新生物、心疾患、脳血管疾患であり、これら3つの要因による死亡者数は全体の総数に対して約50%近くの割合を占めます。悪性新生物の発生は腫瘍への栄養分、酸素の供給が活発になり、腫瘍周囲の血流量が増加します。悪性の新生物、心疾患、脳血管疾患のような血流の異常をレーザー光技術に基づいて検出する装置の開発に取り組んでいます。

帝京大学

『医療現場のニーズを産業界へ～具体的事例のご紹介～』

発表概要

帝京大学では昨年度より、知的財産センターが窓口となり、病院内からくみ上げた医療ニーズを産業界へ結び付けるとい新しい形の医工連携に取り組んでいます。平成28年12月に、医工連携のための交流会として、東京都と板橋区主催のクラスター研究会を本学医学部附属病院にて開催しました。その後1年あまり、ニーズ提案者である医療従事者と企業様との面談に数多く立ち会ってきました。その中から、興味深い事例について具体的にご紹介します。

泉工業 株式会社

『プラズマACTYの開発について』

発表概要

当社は、金属加工業を主力事業とし、見積、設計から組立を一環で行える体制を持っています。2008年のリーマンショックを契機に、金属加工の事業で蓄積した技術やノウハウを活かし、環境関連事業、プラズマ事業を新事業として立ち上げました。プラズマ事業では試験管内壁処理装置、表面処理装置等を開発していますが、今回、新たに東京都市大学等と取り組んでいる「プラズマACTY」の開発についてご紹介いたします。

株式会社 三機コンシス

『ウェアラブル布ヒーターの医療機器への応用』

発表概要

当社の開発した布製ヒーターを用いて、手術室の中でも使用できる医療用保温機器を開発しました。一見、手術室のなかで電気毛布を使うかのような製品ですが低温やけど対策・ノイズ対策をすることで手術室でも安心して使用できるようになりました。開発は医療機器販売会社様と当社での共同開発で行いました、その開発の概要をご紹介させていただきます。

(一社)日本医工ものづくりコモンズ

東京都医工連携HUB機構

『これからの医工連携～臨床、製販、ものづくり～』

発表概要

今、医工連携の取り組みは全国で活性化し、東京都でも平成27年に東京都医工連携HUB機構が発足しています。医療機器開発は研究や試作で終わらず「医療現場に届ける(事業化する)」ことが大切です。そのための有力な方法の1つは、医療機器産業特有の法規制や市場を熟知したプレイヤーである製販企業(医療機器メーカー)との連携です。講演では、ものづくり企業や医療機関・医療者が製販企業と円滑に連携するための最新の考え方を紹介します。

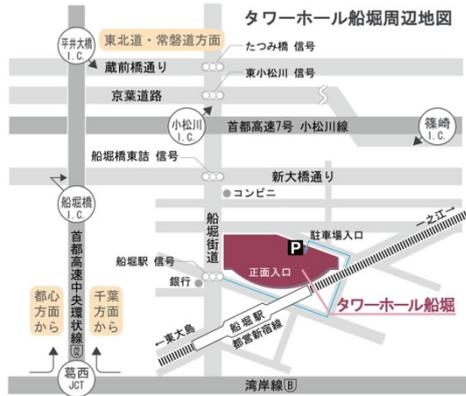
信州大学

『信州大学を中心とした総合支援型の医工連携活動』

発表概要

長野県におけるメディカル関連機器産業の振興を目指し、医療従事者等からの機器開発ニーズの発掘から、製造企業とのマッチング、新規開発機器の臨床試験から販売までをソフト・ハード両面から総合的に支援する体制を信州大学に整備しました。その概要と成果を紹介するとともに、これから本格稼働する新たなコンソーシアム事業についてもご案内します。

会場のご案内



タワーホール船堀3F産業振興センター

〒134-0091

東京都江戸川区船堀4-1-1

★都営新宿線「船堀駅(北口)」から徒歩1分★

【お問い合わせ先】

コラボ産学官事務局 TEL:03-6265-4861 FAX:03-6265-4862

E-mail:jimu@collabosgk.com

参加申込書

2018年3月7日(水)締切

FAX 03-6265-4862 またはE-mail jimu@collabosgk.com でお申し込みください。

名前		電話番号	
住所	〒		
勤務先名称			
役職		メールアドレス	
◇ 参加希望(○印をお願いします) 全体プレゼンテーション ・ 名刺交換会			
※ご記入いただいた個人情報は、当団体からの講演会等のご案内以外には使用しません。			